

2022年3月15日（火曜）

全労金2022春季生活闘争ニュース・第22号

～めざそう賃金改善！進めようジェンダー平等！団結しよう、みんなの春闘！～

私たちの要求主旨を再確認しよう！

単組闘争委員会の指示に基づき、最後まで闘おう！

◎基本賃金の改善は、労働者全体の要請！

2022春季生活闘争は、コロナ禍が長期化し、世界的に平和が脅かされ、社会全体に閉塞感があるからこそ、労働組合の社会的な役割として、基本賃金の改善や最低賃金の引き上げ等、「働くことを軸とする安心社会」の実現に繋がる要求を掲げています。

連合をはじめとする労働組合が勝ち取った成果は、その後の人事院勧告（※公務員の賃金決定）や地域最低賃金協議に影響を与えます。また、これらの影響が、労働組合のない中小・零細企業の労働条件改善に繋がり、その後の様々な法改正にも繋がります。

多くの金庫・事業体は、こうした労働組合の要求に対する背景や組合員の思いに対して、理解を示し、厳しい環境は続いているものの、基本賃金や一時金、最低賃金等について前向きな回答を示しています。

一方で、一部の金庫では、単組闘争委員会が緊急で取り組んだアンケートや組合員の思いを集約した結果を踏まえても、「将来への見通し」「賃金水準は適正」「自己資本比率の低下」等を理由に、要求に応じることはできないとの姿勢を崩していません。

私たちは、単純に「自分の処遇さえ上がればよい」という考えで要求を構築しているわけではありません。賃金改善の社会的なうねりを作ることによって、労働者全体の生活改善が進み、消費意欲が高まり、不動産や動産の購入意欲やレジャー消費が増え、結果として、労働金庫の利用、労働金庫事業の発展につながると考えています。

こうした循環を作り上げることができるのは、労働組合のある労使のみであり、その役割は大きいと考えています。

私たちの要求に自信と確信を持って、単組闘争委員会の指示のもと、最後まで闘いましょう！

◎連合は、第5回戦術会議を開催しました。

連合は、3月14日に第5回戦術会議（※連合三役：大手産別の代表者で構成）において、今後の進め方を確認しています。

《確認事項（抜粋）》

★ 組合員および社会の期待に応えるべく、要求趣旨に沿った回答引き出しに向けて以下の点を強く主張し、最後の最後まで粘り強く交渉を追い上げる。

- 1 コロナ禍を乗り越えて「働くことを軸とする安心社会」の実現をめざすには、これまでの賃上げの流れを継続するのはもちろんのこと、分配構造の転換につながり得る賃上げと誰もが安心・安全に働くことができる環境を実現していくことが極めて重要である。
- 2 すべての働く者の生活不安、将来不安の払拭に向けて、「人への投資」と月例賃金の改善にこだわった交渉を粘り強く進め、最大限の回答を引き出し、賃上げの社会的広がりを拡大していくことが、我々の責務である。

※ 全労金HP (<http://www.zenrokin.or.jp/>)

Facebook (<https://www.facebook.com/zenrokin>) もご覧ください！

※次号は3月16日（水）に発行します！